

士別市農業委員会だより

農業士別

(題字は牧野士別市長)

第 29 号

令和元年 8 月 15 日



主な内容

◆農業委員道内視察研修 ……………	2	◆農業委員・農業者表彰 ……………	3
◆平成 30 年士別市農地賃貸料情報 ……	3	◆新農業委員紹介 (平成 30 年) ……	4

編集/発行 士別市農業委員会 編集委員会

〒095-8686 士別市東 6 条 4 丁目 1 番地 (士別市農業委員会内)

TEL 0165-23-3121 (内線 2393) / FAX 0165-29-6373

農業委員道内視察研修

農業委員会では、委員活動の一環として日常活動の強化を図るため、毎年、農業に関わる先進地等の視察研修を行っており、今年度は6月27日～28日の2日間の日程で研修を実施しました。

向かう道中では少雨干ばつによる豆類の発芽不良や各地区の実情を意見交換し、今後も天候不良が長引けば秋の収穫期には深刻な状況になるとの話も出ていました。

初日のヤンマーアグリソリューションセンター（ヤンマーアグリジャパン株式会社北海道支社）は2012年に創業100年を迎えたのを機に社屋・工場等を一新し、鮮麗なデザインの新建物に目を奪われました。社屋にはトラクター自動操舵用シミュレーター・最新大型トラクター等が展示されており、ロゴ入り商品やカフェなどもあり魅力ある建物でした。屋外ではタブレットを使用したトラクター自動操舵による作業等も見学できるほか、海外大手メーカー「ジョンディア」のトラクター・収穫機などが悠然と並べられており、そのスケール



ヤンマーアグリソリューションセンター（研修1日目）

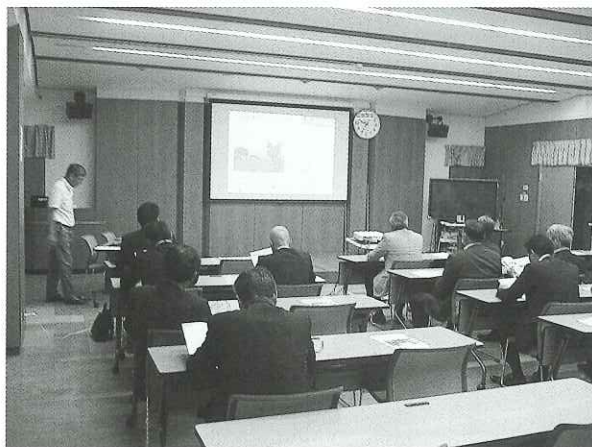
の大きさに驚かされました。

翌日は、札幌羊ヶ丘にある農研機構での研修で、札幌ドームに隣接した敷地は、合計823haと広大な面積を持つ研究機関です。もともとは、農水省直轄の農業試験場でありましたが再編により国立研究開発機構となつています。農業に関する様々な研究を行っており、国が推奨するスマート農業や農研機構が開発した農業気象システムについての説明がありました。

気象システムは既存システムよりはるかに細かいメッシュでの気象現象・水田水温等様々な農業に係るシステムを開発しているとの

ことでした。また、道央地区では盛んに行っている水稲を含めた輪作を効率よく、さらには安定生産のためにいかにして進めるかについてのモデルなどの紹介もされていきました。

今回の研修では今後の農業に必ずや必要になるであろう「ICT」さらには「AI」といった技術が加速して進んでいることを実感し、近い将来日本の農業の救世主となることを願う研修でありました。（報告 上士別地区 五十嵐浩幸委員）



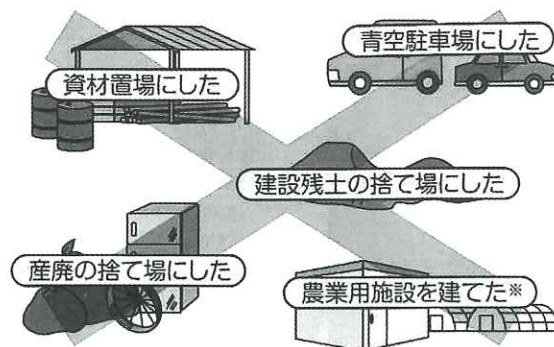
農研機構（研修2日目）

農地転用には許可が必要です

農地を住宅敷地・駐車場・資材置場等の農地以外のものにする場合（農地転用）には、農業委員会の許可が必要です。

許可なく転用した場合や、許可どおりに転用していない場合は、農地法に違反することとなり、工事の中止や現状回復等の命令がされる場合があります。

転用する場合は、事前に農業委員会へご相談ください。



平成 30 年士別市農地賃貸料情報

平成 30 年 1 月から 12 月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10 a 当）は、以下のとおりとなっています。

【田の部】

地 域	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	算出の基礎 とした筆数
中 央	13,007	15,960	8,000	49筆
武 徳	14,625	16,000	12,000	24筆
中士別	13,907	16,000	12,000	43筆
上士別	8,794	10,000	8,000	34筆
多 寄	7,958	9,680	4,548	38筆
温根別	12,724	15,000	10,000	20筆
朝 日	6,899	8,755	5,074	94筆

【畑の部】

地 域	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	算出の基礎 とした筆数
中 央	3,121	5,000	1,000	53筆
武 徳	4,000	5,000	2,000	9筆
中士別	3,863	5,000	2,000	10筆
上士別	3,278	5,000	1,500	9筆
多 寄	2,696	3,312	1,410	13筆
温根別	1,745	3,000	1,000	15筆
朝 日	1,692	2,000	900	38筆

※1 特殊な取引データは除いています。（平均値±70%）

※2 「最高額」及び「最低額」は、平均額算出の基礎とした賃借料の最高額及び最低額です。

平成 30 年度

士別市農業奨励賞受賞

平成 30 年度士別市農業奨励賞授賞式が 3 月 18 日に士別市民文化センターで行われました。

農業経営に対する意欲的な取り組みや地域における積極的な活動が模範となる農業者を表彰するもので、平成 30 年度は朝日町の上野氏、多寄町の大西氏、上士別町の工藤氏、上士別町の農事組合法人きぼうの大地の 3 名・1 団体が表彰されました。



平成 30 年度

農林水産大臣賞受賞

農地等の利用の最適化の推進に関し顕著な実績をあげた農業委員会、並びに顕著な功績があった農業委員に対し農林水産大臣が表彰するもので、平成 30 年は士別市農業委員会と松川英一前会長が功績を讃えられ、平成 30 年 12 月 18 日に上川総合振興局において表彰の伝達が行われました。



新農業委員紹介



山下 篤
(中士別地区)

地域の推薦を受け農業委員になり、一年
余り経ちました。

総会・農地パトロール・農地あつせん・
各種研修会などの活動をして参りました。
まだまだ、分らないことも多く、先輩
委員の指導を受けながら職務を行って
いる日々ですが、地域の協力もいただきなが
らより良い活動にしていきたいと考えて
おりますので、よろしく願います。



鈴木 庄一郎
(中央地区)

昨年7月に新農業委員として就任いたし
ました。この一年間「右も左もわからない」
ながら、先輩委員・事務局の方々、そして
地域の皆様の指導や助言をいただきながら
職務にあたって参りました。

まだまだ一人前には程遠い状況ではあり
ますが、研鑽と経験を積み、地域から信頼
される農業委員を目指したいと思えます。



寺崎 徳仁
(温根別地区)

平成30年7月に農業
委員に任命されてから一
年が経ちました。自分の
勉強不足を実感している
ところではありますが、先
輩委員をはじめ事務局か
らの指導や助言を受け、
なんとか活動をしており
ます。

私の地域も高齢化が進
み、担い手不足の問題を
抱えています。この広い
北海道の農地を農業者と
して誇りを持って護って
いくため、農地利用最適
化に向けて努力していき
たいと思います。
皆様からの御指導をよ
ろしく願っています。

全国農業 新聞

- ◆発行日 週1回(金曜日)
- ◆発行所 全国農業会議所
- ◆購読料 月700円(送料、税込)

全国農業新聞の購読について

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。農業者の「経営と暮らしに役立つ」ホットな情報を毎週金曜日にお届けします。詳しくは、士別市農業委員会へお問い合わせください。

編集後記

近年、地球温暖化のせい
か、5月に30度以上の日
が続いたり、雨不足で畑作
物に影響が出たりと、農業
も難しくなってきたよう
な気がします。

令和元年が豊作に成る
ことを祈って体に気を付
けて頑張りましょう。

(朝日地区 岡崎京子委員)

- 編集委員長 五十嵐浩幸
- 編集副委員長 森野 良次
- 編集委員 岡崎 京子
- 編集委員 小野寺悦子
- 編集委員 佐久間弘美
- 編集委員 山下 篤
- 編集委員 丹 敬生

